



西山孝・絵



西山孝・絵

多摩川スカイブリッジ & 羽田沖周辺クルーズの記録

作成者 根岸 雅明

川崎の産業観光を支援する会 事務局

多摩川スカイブリッジ&羽田沖周辺クルーズの記録

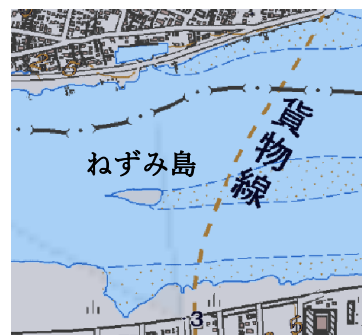
【概要】名鉄観光主催の多摩川スカイブリッジ&羽田沖周辺クルーズ/14:30に参加しました。以下はその体験記録です。

多摩川の見晴公園に 14:15 に集合。健康チェックシートを提出し検温等の受付手続きを経てジェットセイラーというスマートな船に乗船。出航にあたり航路の説明や注意事項を受けて支援する会の会長の大矢氏からのツアーのガイドを受けました。軽妙な洒落なガイドに感心させられよく調べているなどと思いました。

船は羽田沖の下流に向かって進み、日本コロンビアの跡地、河港水門、味の素の歴史などを語りながら進む。

大師橋手前付近では川崎大師の自動車の交通安全祈禱殿が小さく見える。インド様式のような建物が垣間見えた。私にとっては異様な建物だと思いましたが、有名な建築設計家大岡實氏のデザインとの説明がありました。大岡實氏は奈良の建築物や芝増上寺、浅草寺などの設計も手掛けているとの事でした。

ねずみ島の話は過ぎて多摩川の氾濫を防ぐために梨畑になっていたこの一帯の堤外地（堤防の水が流れる側）を削って水の流れをスムーズにして川幅を広げる計画を進めていたが、このねずみ島付近の地権者の協力が得られず、そのままこの個所をのぞいて工事が進められて今の形になったという。いまま地権者はいるのだろうか。なぜねずみ島なのでしょう。島がねずみの形からこのように呼ばれているのでしょうか。今は多摩川に飲み込まれている感じでした。



つり橋の大師橋をくぐると首都高速道路の多摩川橋に差し掛かる。桁の老朽化に伴いかけ替えの工事中だろう。施工方法は下流側に仮橋を建設しこの上に新設の桁を構築して、既設の老朽化した橋げたを上流側に移動して、既存の橋脚の上にこの新設の桁を一気にスライドして 2 週間で工事を行うという。予定では今年の 5 月頃の事。スライド工事の見学が出来たらぜひ見たいと思いました。

いすゞ自動車の工場跡地に建設されたキングスカイフロント地区の説明。70 施設あり、働いている人達が 1,400 名でそのうち 600 名が研究者、博士が 300 名とのこと。健康・医療・福祉・環境の課題を研究開発し人類の幸福貢献を目指す最先端エリアで大田区側の羽田イノベーションセンター地区とツインになる機能の施設。

新設なった多摩川スカイブリッジの建設経緯にも触れられていました。当初神奈川県側で独自の神奈川口構想があり、大田区の反発もあったとの事。川崎・大田区双方が合意し、今後このエリアが最先端医療などで大いにお互いに発展貢献していただきたいと思います。橋の名前も羽田橋でなくて多摩川スカイブリッジの方

が双方のウィンウィンで良かったなと思いました。

多摩川スカイブリッジの大田区側には住友不動産のホテルを核とした羽田エアポートガーデンが整備されました。屋上には天然温泉があり入浴料が 4,800 円ほどだそうです。ガイドの大矢さんは住不のカードで割引 4,000 円で入浴できたそうです。入浴の心地はどうだったのでしょうか。いま観光地での入浴料はどのくらいなのだろうか。なにを基準として入浴料を決めたのか興味がありますね。ちなみに箱根のユネッサンの入浴料をネットで調べたら 4,100 円でした。

船は羽田空港の誘導灯近くに差し掛かると上空の飛行機の真下になると迫力があり圧倒的な眺めでした。飛行機は次から次へと飛来してくる。これは船の上でしか体験できない眺めだ。

この先にある D 滑走路は多摩川の流れを阻害しないように杭構造（栈橋）と埋め立て構造を合わせてハイブリッド工法で建設されたとの説明。杭は 1178 本、杭との間隔は 30m とのことでした。



羽田空港

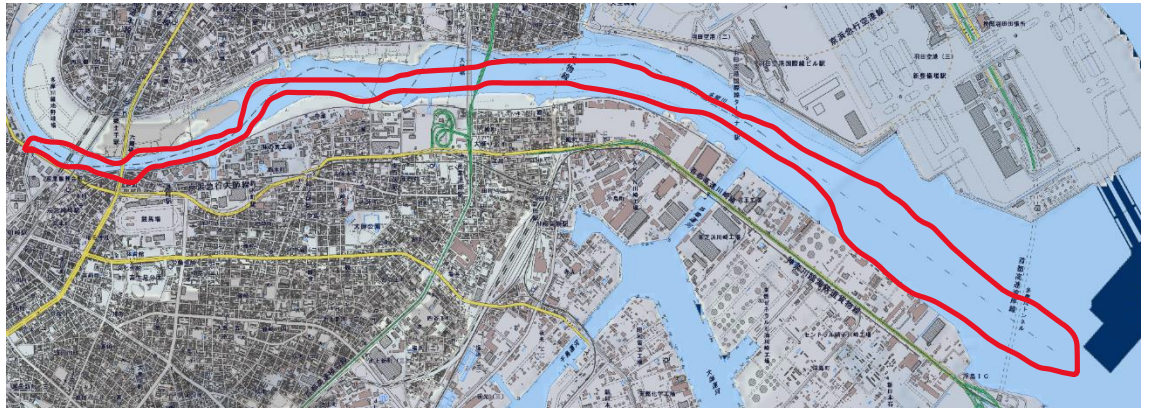


杭構造の栈橋+埋め立て=ハイブリッド工法

ネット参照

羽田沖まで航路を進めて左右両側の街の昔と今の説明や歴史など盛りだくさんのガイドでとても興味津々で沢山学ばさせていただきました。この両地区には沢山の観光資源があるなと思いました。多くの市民にこのような機会を沢山作って川崎・大田区を盛り上げていければいいですね。機会を作って仲間とこのエリアを散策してみたいと思いました。

【航路】全体の航路図。



【写真】



見晴公園より乗船



ジェットセイラー
最大搭載人数 52名
総トン数 16トン



船長より航路の説明、施設の説明、注意事項等



支援する会の会長大矢さんのツアーガイド
軽妙洒脱でとても良かったですし、このエリアをたくさん学ぶことができました。



日本コロニアの跡地にはマンション



ネット参照
水門のオブジェ

河港水門の上にはかつてのこの周辺の名産の梨、葡萄、モモのオブジェがあると説明されていました。



味の素川崎工場

東京ドーム8個分の敷地面積を有する。公害問題から逗子市から運送に恵まれたこの多摩川沿いに移転されてきたとの話。



川崎大師自動車交通安全祈禱殿
大岡實の設計



ネット参照



首都高速道路多摩川橋の上流側の仮橋と仮桁
この上に既存の橋桁をずらして乗せて解体



下流側の仮橋と新設の桁。この桁をスライドさせて既存の橋脚の上に乗せる。
5月に工事との事。2週間で工事を終わらせる計画と説明。



ねずみ島との事。ほとんど多摩川の水量に飲まれてしまっている感じ。
この一帯が梨畑だったとは今は想像もできない景色だ。





大田区側エリアを望む。ソラムナード。5月から6月頃にはスカシユリが満開になるという。
1982年2月に起きた日航機羽田沖事故慰霊碑の説明。記憶を風化させないとの思いか。





橋脚と橋桁が一体構造になっているラーメン構造でできている橋。
多摩川の流れを阻害しないように少ない橋脚と長いスパン（径間）を確保するための構造。



ヨドバシカメラアッセンブリセンター
商品の保管・店舗配送機能・ネット通販の出荷拠点との説明



エネオスのLPGタンク



羽田管制塔。高さ116mで世界で4番目の高さだそうです。







羽田エアークラウド
屋上の入浴施設はどのあたりか。



羽田イノベーションセンターを望む
先端医療・研究開発・コンベンション施設・オフィス・商業施設などの大規模複合施設



この水門は下水道整備ができるまで生活排水を多摩川に流すために使われたとの事。



ツアー終了後、仲間と軽く一杯
沢山知り、勉強になりました。お疲れ様でした。